

新しいテクノロジーにチャレンジ

Windows 10やOffice 2016、また最近、企業での導入が進んでいるOffice 365、こうした新しいテクノロジーを学びたいという希望が視覚障害者のみなさんから寄せられています。

こうしたニーズに対し、SPANは動作検証やマニュアル制作などを通して積極的にチャレンジしています。

そして、準備が整い次第講座で取り上げていきます。

右図はスタートメニューが復活したWindows10の画面です。最近、企業で導入が進んでいる新しいコミュニケーションツールで、Webサイト上でファイル共有や共同作業が可能になっています。

こうした新しいテクノロジーのほか、これまでのWindows 7や8.1、またOffice 2010や2013などについても以下の講座で学んでいただくことができます。



Windows10のスタートメニューの画面

このほか、SPANでは以下の講座を実施しています。

- ・個々のニーズに応じてマンツーマンで学ぶ個人対象講座
- ・数名で同じテーマを学ぶグループ講座、
- ・無料通信ソフトSkypeを利用した遠隔講座
- ・就労中の視覚障害者を対象とした在職者訓練、社員研修
- ・テーマを決めて実施する夜間講座、土曜講座
- ・視覚障害者への指導をする方を対象としたインストラクター養成講座

ご寄付のお願い

SPANは公的な補助を受けず自主運営している団体です。皆様からのご寄付が活動を維持するための貴重な財源となっています。私たちは視覚障害者がICTを使いこなし、自立と社会参加、就労していけるよう活動しています。

この活動に共感していただける方のご支援をお願い致します。

振込先：郵便振替口座 00110-4-183315 スパン寄付金口

毎日クリックでSPANを応援

「いいね!」「シェア」で「NPO法人 視覚障害者パソコンアシストネットワーク」=SPANに支援金を届けることができます。

以下のURLまたは「gooddo span」で検索。SPANのホームページにはリンクがあります。

「<http://gooddo.jp/gd/group/span/?from=fbn0>」 「応援する」ボタンをクリックしてください。

2016年5月31日発行

特定非営利活動法人 視覚障害者パソコンアシストネットワーク(SPAN)

〒108-0014 東京都港区芝5-29-22 フェリス三田 1103

電話&ファクシミリ 03-6435-1614

E-mail office@span.jp

URL http://www.span.jp/

Facebook https://www.facebook.com/span.jp

Twitter https://twitter.com/npo_span



SPANの教室、講習の様子
愛称は「スカイブラザ」
コンパクトでアットホームな雰囲気です



～ 視覚障害者のPC・ICT利用を進めるための掛け橋となることを目指して ～

ICTで視覚障害者の社会参加と就労を支援

大丈夫！見えなくてもスマートフォンとタブレット

SPAN 常任理事
松坂 治男

視覚障害者にとって困難と考えられたタブレット端末の活用も、今では、全盲者でも情報の入手手段としてなくてはならないツールとなっています。電話、メールから始まり、ニュース、書籍、色や紙幣の判別、移動時のナビ等々と。また、弱視者もズーム機能や色の反転、カメラ機能などを活用して、便利に利用しています。

しかしうまく使えていないという現状もあり、情報入手の格差が生まれようとしています。

SPANでは、だれもがタブレットを使いこなせるように、2つの場を提供します。

1つ目は、タブレットサロンの開設。定期的にタブレットを実際に体験できる場の提供。

初めて触れる方や、持っても自由に操作できない方のために、うまく活用している人との交流により、マスターしてもらうサロンです。

2つ目は、特定のアプリをマスターしたい方のための有料の予約制個人レッスンです。

ご希望に応じてご参加ください。



SPANの活動理念

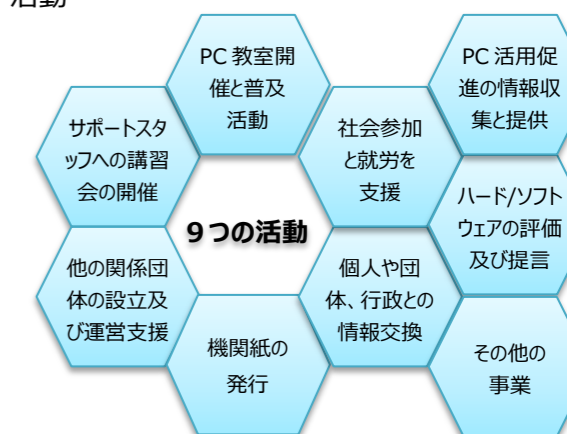
SPANは、1999年11月に発足し、2001年にNPO法人の認証を受け、視覚障害者のパソコンやICT(情報通信技術)の利用が快適・積極的に進むよう、点在する組織や情報を繋ぎ合わせることを目指す有志によって活動を続けています。

SPANの特徴と活動

・特徴

- ・視覚障害者と晴眼者が**同じ立場**で活動している
- ・初級講座から職業訓練まで、**幅広いニーズ**に応えられる
- ・Microsoft Officeのマニュアルなど、**豊富なテキスト**を制作
- ・Skypeを利用した講座など、**多様な講習形態**に対応
- ・Windows10やスマートフォン・タブレットPCなど、**最新の技術**にチャレンジ

・活動



これまでの活動

2015年活動実績（1月～12月）

講座・セミナー等	
夜間講座・土曜講座	Windows 8.1、日商 PC 検定受験対策、PowerPoint、労務・税務などをテーマに 7 回実施
個人対象講座	受講する方のニーズに応じた内容で 67 回実施
視覚障害者職業スキルアップセミナー	視覚障害者の資格取得をテーマに開催
インストラクター養成講座	視覚障害者へのパソコン指導の基本を学ぶ講座として 6 回実施
東京しごと財団在職者訓練	在職中の視覚障害者への職業訓練を実施
企業研修	職場からの依頼により、在籍する視覚障害者への職業研修を実施
社員研修	企業からの委託により、新入社員を対象とした研修で視覚障害者について講義
受託講座	港区、文京区のほか、パソコン教育企業からの委託により実施
第 24 回視覚障害リハビリテーション研究発表大会（福島市）	ポスター発表
ロービジョンセミナー	SPAN 活動紹介で出展
みなと区民まつり	港区が主催するイベントに SPAN の活動紹介で出展

情報提供	
Office 2013 操作マニュアルを制作して Web サイトで公開（第 1 期～第 4 期）	
視覚障害者向けソフトウェア一覧を制作して Web サイトで公開	
広報誌「SPAN2015（第 2 号）」を発行	

2016年活動実績（1月～5月）

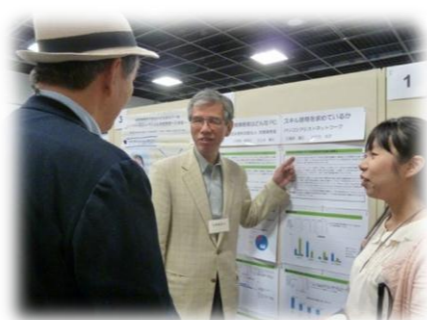
講座・セミナー等	
土曜講座	Office 2013、Excel VBA をテーマに実施
個人対象講座	受講する方のニーズに応じた内容で約 20 回実施
ワンポイント講座	NVDA などをテーマに 2 回実施
インストラクター養成講座	視覚障害者へのパソコン指導の基本を学ぶ講座として 3 回実施
日本ユニシス ニューイヤーコンサート	日本ユニシス主催のコンサートで QR コードを利用したプログラム読み上げデモに協力
タブレット PC 体験会	全盲・弱視別に体験会を実施
コープみらい地域かがやき賞・かがやき大賞を受賞。	

これからの活動

2016年活動予定（6月～12月）

講座・セミナー等	
夜間講座・土曜講座	Word での画像処理、Excel VBA(応用)、年賀状作成などをテーマに実施
タブレットサロン	原則として毎月第 4 水曜日に開催
ワンポイント講座	NetReader、グラフ作成などをテーマに実施
視覚障害者職業スキルアップセミナー	職場で求められる PC スキルをテーマに開催
視覚障害者就労促進事業（仙台市）	関係者向けフォーラム・指導者研究会等を開催
インストラクター養成講座	7 月、9 月、11 月の第 2 日曜日に実施
第 25 回視覚障害リハビリテーション研究発表大会（静岡市）	ポスター発表で参加
ロービジョンセミナー	SPAN の活動紹介で出展

情報提供	
Office 2013 操作マニュアルを制作して Web サイトで公開	



リハビリテーション研究発表大会

視覚障害者が求める PC スキルをテーマに発表を行いました。



ニューイヤーコンサート

コンサートのプログラムに印刷された QR コードを携帯電話で読み上げているところ。



コープみらい表彰式

コープみらい地域かがやき賞・かがやき大賞を受賞しました。

会員に「ちよつとインタビュー」



会員 高西 透江 さん

2013 年入会

マイクロソフトオフィスの可能性にチャレンジ！

Q：SPAN 入会のきっかけは？

A：2005 年から札幌チャレンジドというすべての障害を対象とした支援団体に所属しており、そこで、2009 年から行われた SPAN の遠隔講習のテスト実施に札幌チームとして参加させていただいていました。2012 年に横浜に転居したのを機会に SPAN に入会しました。

Q：SPAN に入会してみた感想は？

A：講師の方、受講者の方、みなさんのスキルの高さに驚きました。

Q：現在、SPAN でどのような活動をしていますか？

A：個人対象講座や土曜講座など各講座の講師やサポート、音声ソフトを使用しての動作確認などの活動に参加しています。

Q：今後、SPAN でどのような活動をしていきたいと思えますか？

A：図形や色、装飾などの視覚的な要素についても、音声とキーボードを使って操作する方法を伝えていけたらと思っています。また、多くの方と交流してお話しできればと楽しみにしています。

Q：SPAN の活動以外に、どのようなことをしていますか？

A：せっかく転居してきたので、こちらならではの味や体験、旅を楽しんでいます。干し柿や梅干しを作ったり、日本神話「因幡の白兔」のうさぎが身体を洗った「御身洗池」、勝海舟が水垢離した井戸、関ヶ原の合戦跡地など、歴史を感じることができるような旅を楽しんでいます。また、道と地図自体が大好きなので徒歩や自転車での道はどこに続くのだろうと探索もしています。おもしろい道や場所があれば教えてください。

Q：最後に、みなさんに伝えたいことはありますか？

A：視覚に障害があっても十分に仕事ができることを広く知ってもらい、視覚障害者の雇用が進むことを願っています。

みなさん、気軽に声をかけてくださいね。
聞き手：平川純



SPAN 理事 村山 慎二郎 さん

創立メンバー

Q：SPAN 設立から携わっていらっしゃる村山さん、視覚障害者の ICT 支援に関わったきっかけは？

A：1993 年、高校以来の無二の親友から、障害者支援に関する新規プロジェクトに誘われました。障害者のことは何も知りませんでしたが、日本で最初の画面読み上げソフトを目指した研究会でした。実用化してみるとソフトがあっても、Windows パソコンの使い方を視覚障害者が知らず、学ぶ場もないことがわかりました。開発に関わった技術者として、ラジオで音声パソコン講座をおこなうなど、指導にも携わるようになりました。

Q：設立当初の SPAN の様子、村山さんが大切にしてきたことについて教えてください。

A：英語の SPAN には、「つなげる」という意味があります。設立当初は、晴眼者と視覚障害者の橋渡しとなるべく、全国各地で、指導者養成の講座を行いました。心に置いているのは、視覚障害者と健常者の相互理解です。「障害者は健常者と同じパソコンを使いたい」と言われたことがあります。使いやすいように専用のソフトを作ると、働く場では互いにマシンを共有出来なくなり、相互に壁が出来てしまう。障害者のニーズに答えた平易なソフトの必要性と並び、支援ソフトを糧に、社会の中で障害者がどう活躍出来るかを見据えた、開発思想と指導の重要性を感じてきました。

Q：設立当初と今では「変わったな」と思うことなどありますか？

A：村山が講師をしなくてよくなった！
SPAN 設立から 15 年、技術を身につけた視覚障害者が、パソコン講座の講師を務められるようになってきました。

Q：普段、活動の他にされているお仕事、趣味などおきかせください。

A：放送局の技術開発部門で、データ放送を障害者に届ける研究などに参加しています。また、大学の研究に参加する他、盲学校での情報の非常勤講師も行ってきます。
趣味は妻との自然歩きでしょうか。緑に囲まれた家の周りを歩きながら、四季折々の草花や野鳥を楽しんでいます。

Q：今後の SPAN に望むこと、展望などお聞かせください。

A：弱視者へのサポートは、これから力を入れていきたい分野。次は、弱視者が一般のパソコン入門講座の講師になる番です。
ショートカットキーは視覚障害者のキー操作に不可欠な機能ですが、晴眼者の講習会でこれを指導すると大受けです。最初は多くのことを覚える苦労がありますが、結果的には最も効率的な方法が身につけているのです。また、パソコンボランティアを志望する方に、スクリーンリーダーの使い方だけでなく Windows の仕組みから学んでもらう場も設けたいです。IT 技術者の入会を望んでいます。

ありがとうございました。
聞き手：上田喬子